

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学籍番号	BR22080		
・ 氏名	松田莉空		
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	環境システム学科		
・ 学年(渡航開始時)	3年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	イタリア		
・ 都市名	ローマ		
・ 留学先大学名	Sapienza – Universit� di Roma		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024年9月1日	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	イタリアーローマという世界でも屈指の観光地。 継承されてきた古い街並みは現代でどのように保全され、活用されているのか。 その意義について現地目線でも理解し、新しい視点を獲得したかった。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できた等)	私の所属する国際プログラムでは、留学が卒業条件になっていることもあり、休学をしなくても留学 ができる仕組みが整っていたためです。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業はオンラインを用いたハイブリット型の授業と対面の授業があり、授業を受けるうえでは特に困ったことはありませんでした。授業自体はもちろんだの授業を履修するのにありますが、都市形態学や建築学に関する一般的な学説を学ぶものや、考古学的な分析で用いられるソフトウェアの使用法の習得等、内容は様々です。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	LINGUA ITALIANA PER STUDENTI STRANIERI	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	イタリア語の習得を目的とする外国語科目です。一定の対面出席日数が必要で、最終回の授業でペーパーテストを受けました。この授業を通して基礎的なイタリア語の単語や文法等の理解が得られ、生活の中で見かける言葉の意味が分かるようになるので、専門科目の履修状況を確認してスケジュールに都合がつけば履修してみてもいいかもしれません。		
科目名②	Landscape representation	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	「ランドスケープとは何か」というアブストラクトな問いからスタートした授業で、総じて都市を理解する、分析するための手法を学ぶ授業でした。具体的にはKevin Lynchの唱える都市における5つのエレメントについて、自ら街に足を運んでその場所を写真撮影したり、Metashapeという考古学の分野でも用いられるような写真から3Dモデルを作成できるソフトの習得などを行いました。授業を聞いて課題を適切に作成すれば特段テスト前に慌てることもないので、比較的履修しやすい科目ではあると思います。		
科目名③	Architectural design studio for urban regeneration	単位数 (現地単位数)	12
科目概要	ベルリン-East side Galleryを対象敷地としたグループで行う演習科目です。4つの建築物とその間のランドスケープデザイン、橋のデザインの提案などを行いました。履修していた科目の中では唯一のグループワークのある科目でした。授業は基本的にオンラインで行われ、グループでの作業のために学校に集まったりカフェで作業をしたりなどしていました。		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

日常生活ではルームメイトの人たちと外食に出かけたり、友達と何度か旅行に行くなどして過ごしていました。
平日は思いのほか授業の準備で忙しく旅行に行くなどはできませんでした。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦勞があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

私の場合、留学を通じて物事に対しての見方や考え方が大きく変化したと思います。留学を通して出会う人は必ずしも留学先の国の人ではなく、様々な背景やバックグラウンドを持った人がいるので、そういう人たちと会話し、経験や知識、思考を共有することは私の中にある価値観について改めて考え直す大変良い機会になりました。そこがオンライン型の授業のみを履修する留学と渡航して授業を受ける留学の大きな相違点なのかもしれません。

苦勞したこととしては、特に観光地から外れた街では英語が通じない場所やお店がありました。ただ、そうした苦勞も楽しめるような心の余裕があれば簡単に乗り越えられると思います。あとはメトロは比較的時間通りですが、バスは来ない事も多いので気をつけてください。

留学楽しんでください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、協定校への手続きは比較的スムーズに進みました。
後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）
ビザは大使館への予約を7月の上旬に行ったところ、空きが8月の終わりまでないほどに埋まっていたので、飛行機の予約も考えればできる限り早めに行っておくことをお勧めします。中には提出書類が不足していて再度来るように伝えられている人も見受けられました。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
部屋探しはなかなかいい場所が見つからないので、大学側からの留学許可がでる前から進めておくことをお勧めします。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）
一般のアパート、お風呂屋やキッチン、トイレは共有。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）
自分で探したWebサイトから手配しました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
Trenitaliaという電車とバス。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
メトロで約50分ほどかけて通学していました。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
私の部屋は比較的に広い部屋だったので住み心地は良かったです。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥300,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥16,000	滞在許可証
計	¥416,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥126,400	
食費/月	¥32,000	
その他/月	¥1,920	交通費は月によってばらつきが大きいです。
計	¥160,320	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	飛行機代等の補助が別でありました。
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学の顔である本キャンパス前の写真

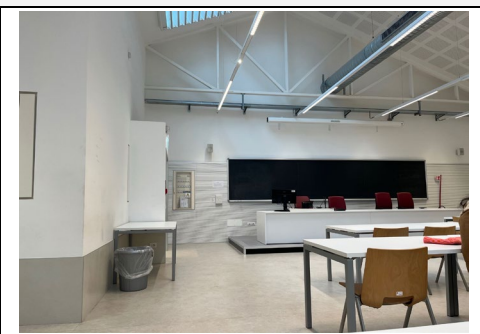
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

宿泊した部屋の写真

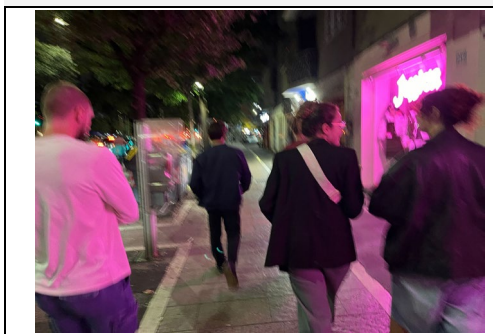
その他、任意の写真



説明文

テストを受けた教室

その他、任意の写真



説明文

ルームメイトの人たちと食事に行っているときの写真

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。